



JA女性部のみなさん



新製品のヨーグルト

残暑お見舞い  
申し上げます！



ミニトマト



モー・モー・パレード

白水地区  
ライスセンター機械始動式



第1回通常総代会

## CONTENTS

◇組合長挨拶	2
◇役員の紹介	3
◇第1回通常総代会	4
◇営農関係者など表彰	5
◇理事会など開催報告	6
◇辞令名簿	7
◇白水地区ライスセンター ヨーグルト工場始動、モー・モー・パレード	8
◇女性部通常総代会 おしゃれサロン開かれる	9
◇JA阿蘇支所訪問 「白水・久木野・長陽・小国郷」、JA野球大会惜敗	11~13
◇JA阿蘇職員採用試験について メロン、スターチス出荷盛ん 佐々木、井野さんに最優秀賞	14
◇広告「シロアリ」	15
◇広告「JA住宅」	16

# 組合員の農業所得・農業粗生産額向上に全力

阿蘇農業協同組合代表理事組合長  
丸山 信義

平成13年4月1日、組合員の深いご理解と関係機関の温かいご支援、ご指導によりまして阿蘇郡12ヵ町村7農協が新生「阿蘇農協」として発足致しました。早いもので1年4ヶ月が過ぎようとしております。

昨年は合併初年度ということで、役職員一同とまどいもあり手探りの状態ではございましたが、組合員のニーズに応えるべく、また組合員の営農と生活を守るため全力を注いで参りました。

去る6月22日の「阿蘇農業協同組合第1回通常総代会」及び「理事会」におきまして私ども役員に選任戴きました。

平成13年度に比べますと役員数も99名の減、また常勤につきましても4名の減という事で、課せられた責務は極めて重大であると痛感しております。

平成14年度につきましては、通常総代会でご承認戴きました一の宮中央支所の建設並びに南部地区購買店舗の建設、ハウスリース事業の導入等、組合員の負託に応えられるよう事業展開を図って参ります。

さらには阿蘇地域農業の将来ビジョンとして「JA阿蘇地域農業戦略」を構築し、組合員の農業所得・農業粗生産額を向上させるため、広域JAとしての「販売力の強化」や3地区営農センター機能の強化等、組合員の期待に応えるためJAの役職員はもとより、組合員・地域社会をも巻き込んだ確実な実践を図っていきます。

農業を取り巻く環境は、後継者不足、農業従事者の高齢化、増加の一途をたどる中国・韓国からの輸入農産物、さらには昨年発症致しましたBSE（牛海绵状脑症）と大変厳しいものがありますが、新体制のもと役職員一同一丸となってこの難局を打破していく所存でございますので、組合員各位におかれましては今後尚一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致しましてご挨拶と致します。

## 役員のご紹介



代表理事組合長  
丸山 信義



代表理事副組合長  
中尾 雄二



代表理事専務  
堀 阿蘇夫



代表理事常務  
後藤 安弘



代表理事常務  
高村 祝次



非常勤理事副組合長  
前鶴 義博



常勤監事  
児玉 範幸

### ■理事（区域）

寺川 隆文（一の宮町宮地区域）  
三城 昌一（一の宮町古城区域）  
杉本 進（一の宮町中通区域）  
渡邊 六男（旧産山村農協区域）  
市原 袋春（旧波野村農協区域）  
内田 稔（西原区域）  
工藤 信行（蘇陽区域）  
立田 寿一（蘇陽区域）  
草村 征憲（高森・野尻区域）  
甲斐 慶福（高森・野尻区域）  
住吉 平男（高森・野尻区域）  
田上 實徳（白水区域）  
工藤 保雄（久木野区域）  
今村 健正（久木野区域）  
荒牧 俊一（長陽区域）

本田 二男（旧黒川農協区域）  
河崎 徳雄（旧黒川農協区域）  
山本 義輝（旧阿蘇町農協山田支所・第一支所区域）  
渡邊 敬一（旧阿蘇町農協山田支所・第一支所区域）  
山内 健次（旧阿蘇町農協内牧支所・乙姫支所区域）  
日田 政次（旧阿蘇町農協尾ヶ石支所・永水支所区域）  
高野 伊助（小国町区域）  
原山 輝義（小国町区域）  
橋本 秀一（南小国町区域）  
宇都宮 徹（南小国町区域）  
室原 昭博（南小国町区域）  
井手 孝義（青壯年部組織）  
田中 弘子（女性部組織）

### ■監事（区域）

三森 和義（一の宮町坂梨区域）  
宮川 英明（蘇陽区域）  
緒方 健一（白水区域）

江入 鐵雄（旧阿蘇町農協尾ヶ石支所・永水支所区域）  
穴井 英之（小国町区域）  
松岡 文幸（この組合の区域全域）

## J A 阿蘇「第1回通常総代会」開催

### =平成14年度事業計画=

### 「地域農業振興計画の策定と実践」など承認

新組合長に丸山信義氏を再任



合併後、初めてとなる第1回通常総代会が6月22日（土）午前10時から阿蘇町立体育館で、総代（書面議決を含む）499名のほか、来賓、県JA関係者、JA役職員が出席して開かれました。

先ず、丸山信義組合長が「この1年、新生“阿蘇農協”として組合員の皆様のニーズに応え、営農と生活を守り、地域社会発展に貢献するため役職員一同、全力を上げて頑張ってきた。だが農業の兼業化、流通・価格形成システムの変化、BSE（牛海绵状脑症）の発生、さらに輸入農作物問題など農協を取り巻く環境は厳しいものがあった。農協の変革期に直面している今こそ、地域農業の振興と安心して暮らせる地域社会づくりに向けた取り組みを強化したい。組合員の皆様の慎重なご審議をお願いします」と挨拶しました。

続いて来賓の松岡利勝衆議院議員、三浦一水参議院議員（代理）をはじめ、来賓各位から祝辞が述べられた後、議長に塚元秀典氏が選出され議事に移りました。

議事では第1号議案（平成13年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び附属明細書について・監事の監査報告）、第2号議案（平成14年度事業計画及び関連事項について）、第3号議案（補助金・交付金の申請事務等の委任について）、第4号議案（定款、定款附属書役員選任規程及び



▲開会の挨拶を行う  
丸山組合長

◀議長に選出された塚元氏

▼会場からの質疑も  
活発に行われた



定款附属書総代選挙規程の変更並びに定款附属書組合員投票規程の廃止について）、第5号議案（規約、信用事業規程、監事監査規程及び宅地等供給事業実施規程の改正について）、第6号議案（役員退任給与金の支給について）、第7号議案（役員の選任について）が審議され、いずれも承認されました。

併せて附帯決議及び報告事項（JAバンク基本方針について・JA阿蘇地域農業戦略の策定について）も承認されました。

## 理事会、監事会で新役員を選出

総代会終了後、会場を農村環境改善センターに移して第1回理事会、第1回監事會がそれぞれ開催され代表理事組合長に丸山信義氏、副組合長に中尾雄二氏を再任し、専務に堀阿蘇夫氏、常務に後藤安弘氏と高村祝次氏を新任しました。一方、常勤監事には児玉範幸氏が選任されました。

## 前鶴氏が県中央会と県厚生連副会長に

前鶴義博氏が6月28日のJA県連総会及び理事会で県中央会と県厚生連の副会長として選出されました。



=平成13年度=

## 営農・共済契約高額者・永年勤続者を表彰

平成13年度の営農・共済契約高額者・永年勤続者表彰式が6月22日、通常総代会に先立ち阿蘇町立体育館で行われました。表彰者には一人一人、丸山組合長から賞状と記念品が贈られました。

各表彰者は次ぎの方々です。

### ■ 営農関係者

農産＝米	藤原 孝誠	(南部営農センター管内)
農産＝米	高崎 克也	(中部営農センター管内)
園芸＝トマト	後藤 秀和	(南部営農センター管内)
園芸＝キャベツ	佐藤 照司	(中部営農センター管内)
園芸＝大根・七草	梅田 正剛	(小国郷営農センター管内)
畜産	飯星 敏	(南部営農センター管内)
畜産	高村 祝次	(小国郷営農センター管内)
畜産	大和 健一	(中部営農センター管内)

### ■ 共済契約高額者（3億円以上）

蘇陽中央支所	藤屋ヨシ子
白水中央支所	大津 稔
久木野中央支所	市原ミシ子

### ■ 永年勤続者

30年	鈴木 敬道	(一の宮農機センター)
	岩下 卓夫	(高森中央支所)
	後藤 貞幸	(白水中央支所)
	楠 喜美男	(共済部)
	甲斐 幸一	(高森中央支所給油所)
	平川ひとみ	(小国郷営農センター)
	長岡 秀則	(南部農機車両センター)
	住吉 次男	(長陽中央支所給油所)
	笠 貞利	(共済部)
	片倉 長久	(南部営農センター)
	佐藤 春生	(久木野中央支所)
	工藤 一男	(波野中央支所)
	後藤 英幸	(白水中央支所)
	山部 賢次	(営農部)

20年	橋本 美明	(総務部)
	田嶋 賢治	(中部営農センター)
	宇都宮久人	(総務部)
	田上 義秀	(白水中央支所)
	時松 一幸	(小国郷営農センター)
	宮川 潔	(産山中央支所)
	橋本 勝次	(阿蘇町農機車両センター)

## 総務委員会・理事会・監事会報告

平成14年4月から7月まで、総務委員会・理事会・監事会が下記の通り開催されましたので、そのご報告をいたします。

### ■第13回総務委員会

開催日時 平成14年4月16日(火)午後1時30分

開催場所 阿蘇町東部支所2階会議室

- 議題 (1) 貸出金について  
(2) 今後のスケジュールについて  
(3) 総代選挙について  
(4) 役員推薦について  
(5) 職務権限表の改正について  
(6) 准職員規程の廃止について  
(7) その他

- 第2号議案=平成14年度事業計画及び関連事項について  
第3号議案=補助金・交付金の申請事務等の委任について  
第4号議案=役員退任給与金の支給について  
第5号議案=役員の選任について  
第6号議案=貸付金について  
第7号議案=信用評定規程の改正について  
第8号議案=永年勤続職員表彰規程の改正について  
第9号議案=就業規則及び育児休業規程の改正について  
第10号議案=平成14年度出荷契約金について  
その他

### ■第14回総務委員会

開催日時 平成14年5月1日(水)午後1時30分

開催場所 阿蘇町東部支所2階会議室

- 議題 (1) 貸出金について  
(2) 出資減口について  
(3) 定款、定款附属書役員選任規程及び定款附属書総代選挙規程の変更並びに定款附属書組合員投票規程の廃止について  
(4) 定款変更に伴う関係諸規定の改正について  
(5) 監事監査規程及び監事会規程の改正について(報告)  
(6) 信用供与の限度について  
(7) 役員推薦に伴う区域全域推薦委員の選任について  
(8) 平成13年度決算報告について  
(9) 資産査定に基づく引当及び貸倒償却について  
(10) 総代選挙管理者及び立会人の承認について  
(11) 家畜査定、資産査定監査の回答書について  
(12) 県総合農業情報センターへの預け金拠出について  
(13) その他

開催日時 平成14年4月23日午後1時30分

開催場所 本所2階会議室

- 議題 (1) 平成13年度決算事務監査実施日程及び人員配置(案)について  
(2) 監査調査及び監査報告書の取りまとめについて  
(3) 平成13年度上半期監査回答について  
(4) 内部監査実施状況について  
(5) 平成14年度監事監査計画(案)について  
(6) 監事監査規程及び監事会規程の改正について  
(7) 棚卸実査の状況について  
(8) その他

### ■第9回監事会

開催日時 平成14年5月29日午後1時30分

開催場所 本所2階会議室

- 議題 (1) 食品表示に関する自主点検結果の検証・監査報告の取りまとめについて  
(2) 平成13年度決算監査報告(案)について  
(3) その他

### ■平成14年度第1回理事会

開催日時 平成14年6月22日(土)午後3時

開催場所 阿蘇町農村環境改善センター会議室

- 議題 (1) 代表理事及び役付理事の選任について  
(2) 理事の順位について  
(3) 農業委員の選任について  
(4) その他

### ■第2回理事会

開催日時 平成14年6月26日午前8時

開催場所 阿蘇町ひのくに会館

- 協議事項 (1) 中央会、連合会役員について  
(2) その他

### ■第3回理事会

開催日時 平成14年7月18日午後1時30分

開催場所 阿蘇町ひのくに会館

- 協議事項 (1) JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について  
(2) 貸出要領の改正及び制定について  
(3) 信用供与等の限度について  
(4) 規程及び要領の改正について  
(5) 平成13年度監事監査指摘に対する回答について  
(6) 役員賠償責任保険、保険料役員負担について  
(7) 貸付金収支

### ■第5回理事会

開催日時 平成14年5月2日(木)午後1時30分

開催場所 阿蘇町内牧(ひのくに会館)

議題

- 第1号議案=定款、定款附属書役員選任規程及び定款附属書総代選挙規程の変更並びに定款附属書組合員投票規程の廃止について  
第2号議案=定款変更に伴う関係諸規定の改正について  
第3号議案=監事監査規程及び監事会規程の改正について(報告)  
第4号議案=信用供与の限度について  
第5号議案=役員推薦に伴う区域全域の推薦委員の選任について  
第6号議案=平成13年度決算報告について  
第7号議案=資産査定に基づく引当及び貸倒償却について  
第8号議案=総代選挙管理者及び立会人の承認について  
第9号議案=県総合農業情報センターへの預け金拠出について  
第10号議案=その他

### ■第6回理事会

開催日時 平成14年6月3日(月)午後1時30分

開催場所 阿蘇町内牧(ひのくに会館)

議題

- 第1号議案=平成13年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剩余金処分案及び付属明細書について  
監事監査報告

- (8) 職員夏季賞与支給について  
 (9) 支所運営委員の選任について  
 (10) 支所担当理事、及び専門委員の選出について  
 (11) 建設委員の選出について  
 (12) 補助事業による固定資産の取得及び系統施工について  
 (13) 平成14年度農協有等家畜導入事業に伴う農協助成について②家畜導入事業及びリース事業利率について  
 (14) 平成14年度理事及び監事の報酬について  
 (15) その他、報告事項、常勤役員の業務担当について  
 盆休業について、JA全国監査機構熊本監査部期中監査実施について

### ■平成14年度第1回監事会

開催日時 平成14年6月22日(土)午後1時30分

開催場所 阿蘇町農村環境改善センター会議室

議題

- 第1号議案=常勤監事、代表監事の互選について  
 第2号議案=監事の順位について

### ■第2回監事会

開催日時 平成14年7月9日午後2時

開催場所 本所2階会議室

議題

- 監事順位確認について
- J A全国監査機構熊本監査部の監査実施並びに監査立会いについて
- 平成14年度監査計画(監事監査・内部監査)について
- 常勤監事が出席する重要な会議の取扱要領並びに監事監査規程第8条書類の回付・閲覧に関する要領の制定について
- 広域JA監事研究会メンバー推薦について
- その他

### ■第3回監事会

開催日時 平成14年7月16日午後1時30分

開催場所 ひのくに会館会議室

議題

- 各監事に対する報酬額の決定並びに支給方法について
- その他

### 辞令名簿

氏名	旧職名	発令年月日	辞令の内容
本田 正代	白水中央支所金融共済課貯金係	平成14年6月6日	高森中央支所金融共済課共済係
森 博明		平成14年7月1日	黒川中央支所購買課給油所係
大津 慎		平成14年7月1日	高森中央支所購買課購買係
青木 政義		平成14年7月1日	中部営農センター園芸課園芸係
宮崎 千恵子		平成14年7月1日	一の宮中央支所購買課購買係(一の宮グリーン)
藤田 恵輔		平成14年7月1日	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)
大津 比呂志		平成14年7月1日	蘇陽中央支所購買課購買係
佐藤 友子		平成14年7月1日	小国郷営農センター園芸課園芸係
小野 泰嗣		平成14年7月1日	小国郷営農センター農産課加工利用係
荒木 あづさ		平成14年7月1日	黒川中央支所金融共済課金融共済係
吉岡 泉		平成14年7月1日	中部営農センター事業課精算係
西村 理沙		平成14年7月1日	総務部経理電算課経理電算係
小嶋 幸俊		平成14年7月1日	阿蘇町中央支所購買課給油所係
宅野 幸大		平成14年7月1日	小国郷営農センター事業課ヨーグルト工場係
成瀬 裕介		平成14年7月1日	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)
古澤 勝己		平成14年7月1日	久木野中央支所購買課購買係
市原 新太郎		平成14年7月1日	一の宮中央支所購買課購買係(一の宮グリーン)
林 裕介		平成14年7月1日	一の宮車両センター車両係
佐藤 今朝富	金融部債権対策課長	平成14年7月1日	金融部長
宇都宮 雄一	小国郷営農センター園芸課販売係	平成14年7月1日	小国郷営農センター園芸課販売専任係
白川 幸生	中部営農センター園芸課園芸係	平成14年7月1日	中部営農センター園芸課指導販売係兼外商係

## 今春、阿蘇南部地区待望の 「白水地区ライスセンター」落成



J A阿蘇南部地区で初めての施設となる「白水地区ライスセンター」の落成式が4月11日、現地の白水村大字一関大久保で行われました。式には県・町村、J A経済連、工事関係者、地元地権者、各生産部会関係者、J A阿蘇役職員ら約200人が出席。神事を行った後、丸山組合長挨拶、工事関係者への感謝状贈呈、来賓祝辞などが行われ、機械始動式に移り、丸山組合長がシステムのメインスイッチのボタンを押しました。

ライスセンターは建築面積1,012m<sup>2</sup>、耕穀庫210m<sup>3</sup>の総工事費4億5,700万円。施設の概要としては対象面積=水稻282ha、総処理量=生稻1,956t、日処理量=標準105t、最大130t、循環型乾燥方式で乾燥機容量は140t(20t×7基)等となっており、今秋から本格的に作動の予定です。またセンター建物に隣接し倉庫が建設中です。



J A阿蘇小国郷  
「ヨーグルト工場」始動

小国町の物産館びらみっと近くに完成した「ヨーグルト工場」の開所式が4月27日、生産者・工事関係者、J A阿蘇役職員ら約100人が参加して行われました。ヨーグルト工場で生産するのは特産のジャージー牛乳で作るのむヨーグルト(150と900ml)とたべるヨーグルト(100g)の3種で、一般の乳酸菌製品に比べ乳酸菌が70倍も多いことなどが特徴となっています。年間の生産目標は350t、将来は3億円の売り上げを目指しています。同製品はびらみっとやゆうステーション等で販売中です。

### 交通モー、牛肉モー、安全キャンペーン 牛9頭もパレード

交通安全と牛肉の安全性と一緒にアピールしようと、J A阿蘇・一の宮警察署等主催のキャンペーンが7月20日行われ、一の宮町阿蘇神社前からJ Aや交通安全関係者約100人が牛9頭と一緒に町内をパレードしました。パレード後は県畜協阿蘇支所で交通安全体験とバーベキューが行われました。



主催者を代表し挨拶するJ A阿蘇坂専務

## JA阿蘇女性部通常総代会開催

組織を充実し積極的な活動展開を目指す

JA阿蘇女性部（田中弘子会長、会員2,212名）の平成13年度通常総代会が5月7日、阿蘇町のひのくに会館で開かれ、総代および関係者ら約50人が出席しました。総代会では先ず田中会長が「安全で安心な農作物の“地産地消”促進を行うためには、ファーマーズ・マーケット（直売所）のような施設の拡充が望まれる。併せてJA運営における女性の参画が大切で、そのためにも女性部の組織を充実し積極的な活動を行っていく必要がある」と挨拶し、いっそうの組織の活性化と団結を訴えました。また、来賓祝辞の中で丸山信義組合長も「農業もわが国経済同様、厳しい状況にある。このような時こそ女性部の役割が期待される」とエールを送り、理事会メンバーに青壯年部と共に女性部が加わることになったことを明らかにしました。

議事では、議長に佐藤アイ子さんを選出し、第1号議案（平成13年度事業報告並びに収支決算報告書承認について）、第2号議案（平成14年度事業計画並びに収支予算案の承認について）、第3号議案（その他）が審議され、満場一致で承認されました。



田中会長の挨拶



総代会終了後は、産山村の岩本良子さんが「プラス思考の考え方」という演題で講演を行いました。

カジュアルから高級宝飾品まで、一堂に展示・販売



主催者によるテープカット



▲中・北部会場



◀ 南部会場



## JA阿蘇おしゃれサロン

高級紳士・婦人服からカジュアルなファッション、寝具、シューズ、バッグ、アクセサリーなどを一堂に展示・販売する「JA阿蘇おしゃれサロン」（主催=JA女性部・購買部ほか）が、南部会場（6月8・9日、白水村農村労働者福祉センター）と中・北部会場（阿蘇町のホテル角萬、6月29・30日）で開かれました。

恒例となったおしゃれサロン、今回は幅広い年齢層と多様化するニーズに応えるため、高級品に加えお手頃価格でお買い得なカジュアルな商品が多く取り揃えられました。

また、会場の一角には「女性部コーナー」や「農産物即売コーナー」も設けられ、新鮮な野菜や農産加工品が展示・即売されました。

おしゃれサロン期間中、両会場合わせて約2,751人の来場者があり、5,204万円の売上目標に対し5,689万円の売り上げがありました。

## J A支所訪問（第4回）

J A阿蘇の各支所や施設を紹介する「J A支所訪問」。今回は「白水、久木野、長陽、小国郷」（順不同）の4中央支所です。

### 白水中央支所

白水村吉田1005-1 ☎09676-2-9131



#### ■良質の水に恵まれ、旨い米生産 転作作物の“大豆栽培”も盛ん

「白水中央支所」（後藤英幸支所長・職員20名）は、村を東西に走る旧国道325号沿いのほぼ中央部に位置しています。旧国道の両サイドには325号バイパスと南阿蘇鉄道高森線が並行して走っています。バイパス沿いの一閑地区には合併前のJ A阿蘇南本所が置かれていましたが、現在は「南部営農センター」となっています。

白水村は“水の生まれる里”と呼ばれているだけに、村内には白川水源をはじめ8カ所の水源が点在し、白水温泉「瑠璃」や一心行の大桜などと共にシーズン中は多くの観光客が訪れます。

良質の水に恵まれた地であることから、主要作物は当然のことながら水稻で、昔から良品質で旨い米が生産されてきました。転作地では大豆（スズオトメ）栽培と施設園芸が行われています。大豆は30haで作付され、ほとんどが地場納豆メーカーとの契約栽培となっています。

また、大豆は自家用としても栽培され、J A女性部の手によって味噌などに加工され物産館などで販売されています。“地産地消”を推進する上でも今後の展開が期待されています。



▲白水中央支所の皆さん

#### ■“グリーントップ”的建設実現を

園芸ではトマト・ミニトマト（7～11月）、イチゴ（11～5月）、そして春・秋メロンが盛んです。このほかに花卉栽培やブドウ（6戸）とリンゴ（2戸）の観光農園も行われています。

現在、白水中央支所管内の組合員数は正・准合わせ1,100名。そのうち専業農家は10%未満という状況となっています。

後藤支所長は課題として「後継者不足が最大の課題であるが一挙には解決できない。組合員へのサービス向上と合理化を図るために、土・日も利用できる“グリーントップ”的建設などをぜひ実現していきたい」と語っていました。

#### ■価格も一応安定、トマトとミニトマト

白水村のJ A野菜集荷所では現在、蘇陽（12戸）、高森（6戸）、白水（32戸）の生産農家から集荷されたトマト（桃太郎）とミニトマトの出荷が盛んに行われています。トマトは34万ケース（1ケース4kg）が熊本、長崎、佐賀、鹿児島などの九州管内と岡山、広島などに出荷され3億5,000万～3億6,000万円の販売高が見込まれています。

一方、ミニトマトは白水村（21戸）、高森（1戸）で計4haが作付けされており、100万パック（1パック200g）1億1,000万円の販売高が見込まれています。出荷は11月中旬まで続けられます。



# 久木野中央支所

久木野村久石2638-5 ☎09676-7-0035



## ■ “特A米作り”にチャレンジ

「久木野中央支所」(市原哲志支所長・職員14名)がある久木野村は、南外輪山分水嶺から北向きに傾斜地が拡がり、村域は東西に長く南北に狭い弧状の地形をしています。隣接する白水村・長陽村とは東西に流れている白川が境となっています。面積の75%を山林原野が占め、耕地は約20%です。

村の中央部を東西に県道28号が走り、県道沿いの中心地に久木野中央支所をはじめ関連施設の野菜選果場や精米工場、ライスセンターが建ち並び、すぐ近くには役場やそば道場などがあります。

久木野中央支所管内の組合員は正・准合わせ520名です。専業農家は15%余り、残りが兼業農家となっています。久木野村も地形的に水に恵まれ昔から米作りが盛んなことから、主要農作物としては水稻が大半を占めています。

平成13年から15年までの3カ年計画で熊本県から「特A米」を出すという目標で、久木野に「チャレンジ21試験ほ場」として約2haの水田が設けられ、コシヒカリが栽培されています。そのため“土づくり・根づくり・人づくり”までを基本に、徹底した土壤断面調査・土壤分析・用水分析・堆肥分析を行い、その結果を基に20区の有機質肥料を中心とした肥料設計を行い「特A米」計画を実施しています。

## ■ 転作作物のソバ栽培に活路

水稻のほかには畜産(62戸・繁殖牛)をはじめトマトやイチゴなどの施設園芸が行われています。トマトは昭和40年代から始まり、現在8haで栽培されています。出荷は長陽村(3ha)で栽培されたトマトと一緒に久木野の野菜選果場に集荷されており、今年も2億8,000万円の販売高が見込まれ

ています。転作作物としてはソバ栽培があげられます。ソバは村の助成を受けて昭和63年頃から始まりました。平成2年当時、ソバの作付けは2haでしたが今年度には143haと増加し、生産農家も約160戸余りとなり定着が図られています。販売価格も以前はソバ1俵が8,000~1万円程度でしたが、今では村の助成及びそば道場の還元を含めて2万円となり高付加価値農業が展開されています。

これは平成2年にそば道場が、平成5年におふくろ館がオープンしたことなどにより、都市と農村の交流活動の拠点施設としてそば道場やおふくろ館が定着し、農産物や特産物の販路拡大が図られたことも裏付けています。



精米工場



水稻育苗センター

耐候性ハウス



## ■俵山トンネルに新たな展開を期待

村内河陰には水稻育苗センター（平成9年4月完成）があり、田植えシーズンになると南阿蘇地域に供給されます。また、JAの耐候性ハウスのリース事業も行われており、3棟18aのハウス内ではトマトが栽培されていました。

市原支所長は「来年春には西原・久木野間に待望の俵山トンネルが開通する。今後も農業を主体に観光と結び付けた施策を役場とも一体になって推し進める必要がある。そうすれば新規就農者も増えるのではないか」と語っていました。

## 長陽中央支所

長陽村河陽1900-2 ☎09676-7-0511



写真左側の建物が長陽中央支所

## ■阿蘇路への玄関口、長陽

熊本市方面から阿蘇路への玄関口である長陽村。東は白水村、西は大津町、南は久木野村、北は阿蘇町に接し、立野地区で主要幹線である国道57号やJA豊肥本線が阿蘇、そして南阿蘇方面（国道325号・南阿蘇鉄道）へと分かれ延びています。地形的にも阿蘇谷・南郷谷をそれぞれ流れてきた黒川と白川が立野火口瀬で合流し、白川となって熊本市方面へと流れ下っています。

長陽村は昔から地獄・垂玉などの温泉群があり、いで湯の里として知られ、また長野の岩戸神楽は全国的に有名です。昨今ではベンションや多くの観光施設が話題を呼んでいます。

## ■生きがい、健康づくりにニンニク栽培

「長陽中央支所」（津留明義支所長・職員14名）は村の南端、旧国道325号沿いの河陽地区にあります。中央支所に隣接して、JA熊本経済連の「配達センター」（元農産物集出荷場）があります。

長陽中央支所管内の組合員は正・准合わせ560名で、専業農家は8%となっています。

主要作物は水稻を中心に畜産、施設園芸（トマト・イチゴ）、そして花卉（スターチス）です。トマトは久木野選果場へ、イチゴは白水選果場へ集出荷されているほか、シーズン中、観光農園とし開放している所もあります。転作作物としては飼料作物が多くを占めています。

今、長陽中央支所が長陽村といっしょになって取り組んでいる試みが、ニンニクの栽培です。高齢者の生きがいや健康づくりが目的で、現在2haで作付けされ、15tが生産されています。

## ■営農センターとのさらなる連携 女性部のいっそうの支援と協力必要

津留支所長は今後の課題として「農家の所得確保による安定した農業経営と、営農センターとのさらなる連携で地域振興を図りたい。また高齢化社会に対応した取り組みを行政とも一体になって進めたい、そのためにも女性部のいっそうの支援と協力をあおいでいきたい」と語っていました。



長陽中央支所の皆さん



配達センター

# 小国郷中央支所

小国町宮原2300 ☎0967-46-3211



中央支所2階には「Jホール」がある



小国郷中央支所職員の皆さん

## ■支所に集約一元化された多角的な機能

小国郷中央支所（藤堂秀美支所長・職員57名＝嘱託・臨時含む）は小国・南小国両町を管内とし、組合員約3,000名（正=2,521名・准=474名）という数を誇るJA阿蘇の中では最大規模の支所です。

中央支所内には金融・共済・購買・情報企画センターなどの担当課があり、同施設内に小国郷営農センターも置かれています。また敷地内には野菜集出荷所・生産資材店舗・資材倉庫などが効率よく配置され、集出荷に来る組合員さんがいつでも必要な生産資材を求められるようにと利便性を図っています。

営農の形態としては稲作から脱皮を図った複合経営が主に行われ、10a当たりの生産性が高い夏秋野菜栽培や畜産への取り組みが盛んです。出荷販売額の割合は米が約12%、野菜・花卉（ホウレンソウ・ダイコン・キュウリ・生椎茸など）が約56%、畜産（牛乳・牛肉など）が約31%となっています。

## ■支所・営農センターが一体になり取り組む

関連施設としては、多くの観光客が訪れる「物産館びらみっと」、付加価値を高めた地域の特産品づくりをしている「乳製品加工場」「肉類処理加工場」「ヨーグルト工場」「製茶工場」などがあります。南小国町には「南小国支所」が置かれ「Aマート」などがあります。

また小国郷中央支所2階の多目的ホール（Jホール）は情報企画センターで管理をしており、披露宴で最大290名まで収容でき昨年は31組の結婚式が執り行われ、多数の会議が開かれました。

藤堂支所長は「支所と営農センターは一体となった取り組みをしている。小国郷の場合も課題は高齢化であるが、30歳代の後継者も育ってきてるので展望がある。メロンや自然薯、甘藷は消費者と直接取引が行われており、小国郷の地域ブランドが九州各地に浸透してきている。“朝どり市”は高齢者の生きがいにも一役買っている」と語っていました。



効率よく配置された資材倉庫、  
野菜集出荷所



南小国町の  
「南小国支所」「Aマート」付近



「Aマート」では中元商品の  
展示販売会開催



製茶工場で真空パックされたお茶

## 「蘇陽チーム」実力発揮できず！

第27回県JA親善野球大会が8月3・4日、県下JA11チームが参加し運動公園で開かれました。JA阿蘇チームからは予選で勝ち抜いた蘇陽チーム（橋野省二監督）が出場。前鶴中央会副会長が主催者を代表し挨拶を行った後、第1回戦でJA阿蘇はJA上益城と対戦しました。しかし日頃の実力が発揮できず5対0で、残念ながら敗退しました。



# J A阿蘇(高卒・短大卒・大卒)職員採用試験の実施について 平成15年度 J A阿蘇職員募集要領

記

## 1. 採用職種及び採用予定者数

一般事務職……………若干名  
農機・車両整備士……………若干名

農業関係技術職……………若干名

## 2. 受験資格

平成15年3月(来春)卒業見込の者。(高校生及び短大生、大学生)

## 3. 受験手続

### (1) 提出書類

ア. 履歴書(J I S規格)……………1通

イ. 写真(3×4cm)……………1枚

ウ. 成績証明書……………1通

(履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名、住所、氏名を記入したもの)

### (2) 応募締切日

平成14年9月6日(金)必着

エ. 卒業見込証明書……………1通

### (3) 応募書類提出先及び問い合わせ先

〒869-2612 熊本県阿蘇郡一の宮町大字宮地387番地5

### (4) 応募方法

原則として、郵送に限る。ただし、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。なお、受付終了後「受験票・採用試験通知書」を郵送します。

## 4. 試験の日時・場所及び内容

### (1) 第1次試験

ア. 日時 平成14年9月19日(木)午前10時~午後3時  
(午前9時30分から受付します)

イ. 場所 J A阿蘇

ウ. 内容 一般教育、小論文(作文)

### (2) 第2次試験

ア. 日時・場所 第1次試験合格者のみに後日通知します。

イ. 内容 面接試験

メロン、スターチスの出荷盛ん

阿蘇町野菜選果場では、主に阿蘇町及び一の宮町で栽培されているメロンの集出荷が行われています。同管内の作付状況は、ホームランメロン生産者が7名、作付面積99a、出荷数量4,500ケース、販売額720万円。アンデスマロン生産者が15名、作付面積248a、出荷数量12,000ケース、販売額1,920万円。肥後グリーンメロン生産者が10名、作付面積99a、出荷数量8,100ケース、販売額1,140万円となっています。一方、一の宮町野菜集荷所では主に一の宮・産山・波野管内で栽培されているスターチス(リモニウム)の出荷が行われています。同管内の生産者数は9名、作付面積90a、出荷数量11万本、販売額は740万円となっています。(※写真は5月に撮影したものです)



## 県J A農機推進・技術コンテスト

最優秀賞に

J A阿蘇の佐々木さんと井野さん



第9回県J A農業機械推進・技術コンテストが7月12日、県下各地区からの代表者20人が出場して農業大学校のA・B2会場で行われました。J A阿蘇からは佐々木聰さん(西原農機センター・写真上)と井野敬介さん(阿蘇町農機センター写真下)が参加。二人はいずれも「笑顔でのサービス対応と点検・技術力が素晴らしい」などの評価を得て、最優秀賞に輝きました。



# 油断大敵

シロアリは飛んでいきます

あなたのもとへ!!

4月～7月末頃 日中から夜半にかけて分巣行動の為、  
羽蟻が飛びます。以下の状況があれば、

**住宅への侵入に要注意!!**

- 床下の風通しが悪い ●湿気が多い
- 自宅や近所で羽蟻を見た

羽アリは、春から風に乗つて  
巣より群をなして飛びたちます。



**ヤマトシロアリ**



ヤマトシロアリ羽アリ  
(黒かっ色)

北海道北部を除くほとんど日本全土に分布しています。加害箇所が巣を兼ねており、適当な生活場所と、えさを求めて集団で移動する習性があります。常に湿った木材や土中で生活しており建物では土台や根太など主に建物下部を加害します。

**イエシロアリ**



イエシロアリ羽アリ  
(かっ色)

神奈川県以西の海岸線にそった温暖な地域と南西諸島、小笠原に分布しており建物や地中に塊状の大きな巣をつくります。加害速度も速く、被害は建物全体に及びます。

# 無料点検受付中

お近くのJA窓口までご相談ください。

# 特別仕様 プレゼント

(自由設計の場合)



日頃お世話になっております皆様に、  
東日本ハウスから感謝を込めて  
お贈りいたします。

日本の家  
**やまと**

**1** 1坪サービス

**2** 陶器瓦



あなただけのスペースを考えてみませんか?



台風や耐久性に優れた陶器瓦です。

豊富なバリエーションから  
ほんの一部を紹介します



黒日展示場

熊本吉田町6丁目8-1 TEL 096-380-9249

**3** 無垢フローリング

**4** ペアガラス



様々な生活スペースの1Fにお使い  
頂けます。



居室にお使い頂けます。  
快適さをご提供いたします。



熊本KAB展示場

熊本市田井島1丁目13-10 TEL 096-370-4121



JT展示場

熊本市大江3丁目2-2 TEL 096-361-2656

JA特別推奨プランも好評実施中!!

<お問い合わせ先>

ご紹介ありがとう  
キャンペーン実施中!  
詳しくは、担当のリーフレットをご覧ください。

県下JA JA熊本経済連住宅課 東日本ハウス(株)熊本支店  
TEL 096-328-1173 TEL 096-212-8711

発行

阿蘇農業協同組合総務部総務人事課

〒869-2612 熊本県阿蘇郡一の宮町宮地387-5

TEL 0967・22・6111

FAX 0967・23・1088